

水環境保全の推進（名水サミットなど）

アナ： 『市長が語る2023三島』第16回の今日は、「水環境保全の推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 夏本番となり、澄んだ水の中で子どもたちが遊んでいる様子があちこちで見られる季節となりましたね。

街を歩いていると、いたる場所で水が湧いている様子に目を奪われます。

全国的にも三島市の水辺環境を見に行きたいという観光客が増えているように思います。

市長： ありがとうございます。

市内外の方から、「三島市はきれいですね。歩いていて楽しいです。」というお褒めの声を多くいただくようになり、本当にうれしく思っております。

いくつもの清流が市街地を流れていることがお褒めの言葉につながっている部分が大きいと感じております。

市街地を流れるせせらぎは、市民の皆様にとってまさに宝物で、一年を通して憩いの空間となっておりますし、また、そこでは、環境保全活動などを通じてコミュニケーションが生まれ、仲間づくりやまちづくりに繋がっていると思っております。

アナ： なるほど。私もせせらぎを見ていると、自然と心も表情も清らかになる気がします。

水ってすごい力を持っているんですね。

市長： そうですね。本年は、その水辺環境を全国に発信するため、清水町と共同で、ここ三島で「全国名水サミット」の開催を予定しております。

このサミットは、次世代に水環境の大切さを引き継いでいくために、「昭和の名水百選」と「平成の名水百選」に認定された市町村で組織される「全国水環境保全市町村連絡協議会」が毎年開催するものでございます。

今年度は、三島市長が協議会の会長となりまして、富士山の湧水で名水百選に認定されている清水町とともに、「名水サミット in みしま・しみず」と題した全国大会を企画いたしました。

アナ： 水をテーマにした全国大会とはすごいですね。どのような内容ですか。

市長： 8月18日（金）に、三島市民文化会館大ホールにおいて、「命をつなぐ、街をつなぐ、次世代につなぐ～富士山の湧水の恵み～」をテーマに開催いたします。

水の素晴らしさについて考えるプログラムとなっております、シンポジウム

では活動団体の皆様による源兵衛川や柿田川の環境保全の取り組みをご紹介させていただき、その後、3人の先生方による基調講演となります。

お一人目は、伊豆半島ジオパークの研究で知られる静岡大学の小山真人（こやま まさと）先生で、この地に富士山の湧水が湧き出るメカニズムなど「湧水とまちづくり」についてお話いただきます。

お二人目は、カミツキガメやゾウガメの捕獲等で多くのテレビ番組にご出演されている静岡大学の加藤英明（かとう ひであき）先生で、外来生物が生態系に及ぼす影響など「水環境及び水中生物」についてお話いただきます。

最後に、絵本作家の宮西達也（先生に、「湧水を引き継ぐことの必要性」についてお話いただきます。

基調講演の後は、同じく富士山の湧水の恩恵を受けている富士宮市の市長、清水町長、宮西達也（みやにし たつや）先生、そして三島市長が「湧水を活用したまちづくり」についてパネルディスカッションを行い、水辺環境を保全することの意義について議論いたします。

当日は、参加無料でどなた様もご参加していただけますので、お気軽に足を運んでいただければ幸いです。

アナ： 基調講演の先生方が大変豪華なメンバーですね。

市長： はい。静岡県東部にご縁のあるそれぞれの分野の第一人者に、水をテーマにお話しいただける、魅力的なプログラムだと思っております。

また、お子様の夏休みの自由研究にもぴったりではないでしょうか。

アナ： 私もお話を聞いてみたくなりました。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。